

福島第一 ロボットによる空气中放射性物質の核種分析結果

採取場所	福島第一 2号機R/B1F TIP室内						炉規則告示濃度 限度(Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線業務従事者 の呼吸する空气中 の濃度限度)
試料採取日 時刻	平成24年3月21日 11時29分～12時29分						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-					
Cs-134 (約2年)	3.0E-03	1.5					2E-03
Cs-137 (約30年)	3.9E-03	1.3					3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

E- とは、  $\times 10^{-}$  と同じ意味である。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出されていない代表 3 核種の検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約 $2E-5Bq/cm^3$ 。

粒子状のI-131が約 $2E-5Bq/cm^3$ 。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。